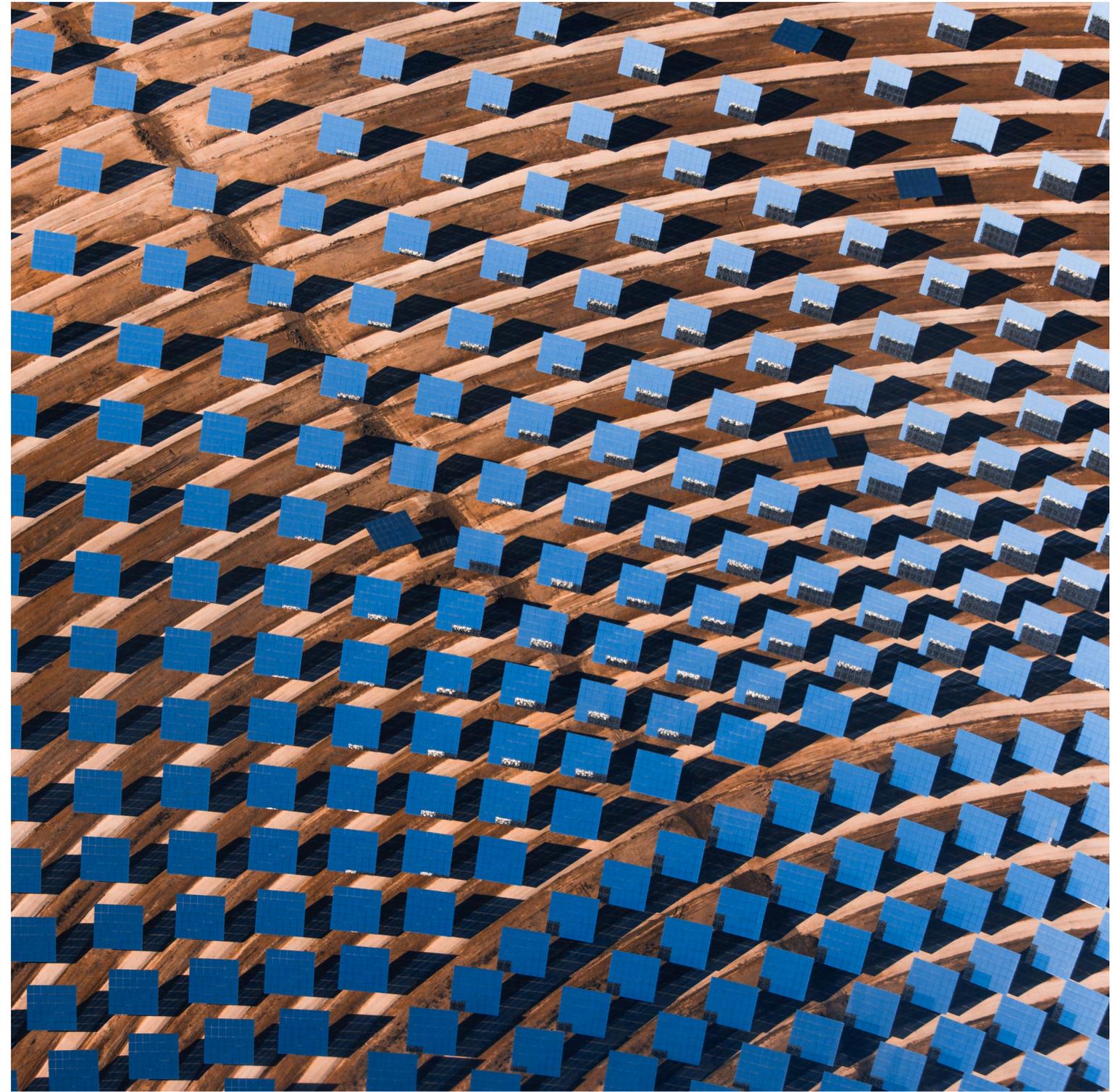


生成AI時代に、ハイブリッドクラウドの価値を最大化する方法



内容

01 →

ハイブリッドクラウド：
ビジネス戦略に据える

02 →

AIのためのハイブリッド・バイ・
デザイン・アプローチの必要性

03 →

ハイブリッド・バイ・デザインで
ビジネス価値の増幅

04 →

ハイブリッド・バイ・デザインのバ
リュー・フレームワークの体系化

05 →

生成AIを使用した、生成AIのた
めのハイブリッドの導入

06 →

実世界でのハイブリッド・
バイ・デザインの成功

07 →

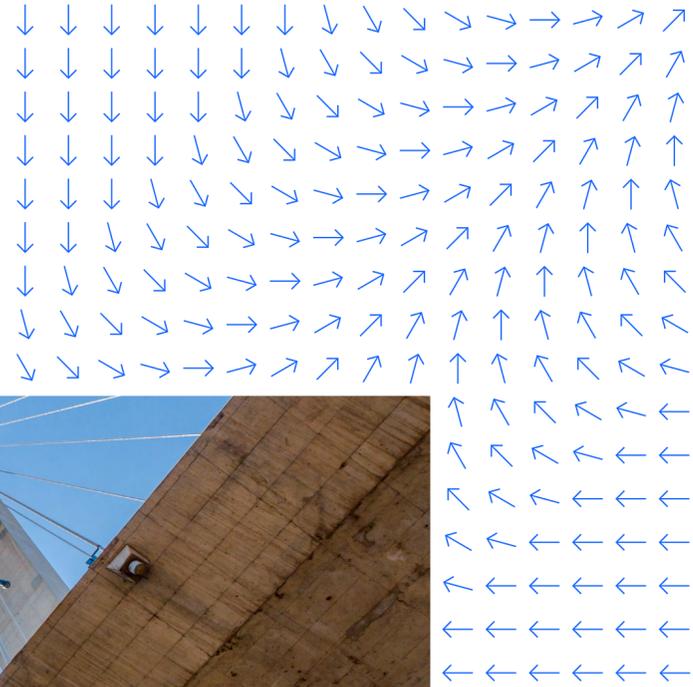
ハイブリッド・バイ・デザインの
バリュー・フレームワークの活用

08 →

ハイブリッドクラウドと
生成AIの取り組みの加速化

09 →

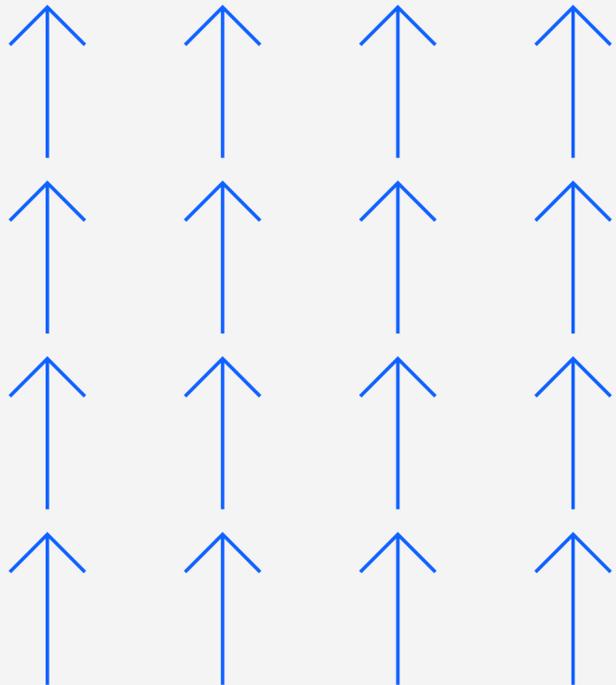
作成者について



ハイブリッドクラウド： ビジネス戦略に据える

大多数の企業は、複数のクラウド環境やオンプレミス環境、エッジにワークロードを分散させるハイブリッドクラウド・アプローチを採用しています。最近のレポートは、調査対象となった750人のITエキスパートおよび経営幹部のうち72%以上がプライベートクラウドとパブリッククラウドの両方を使用していると報告しています。¹一方、HFS Research社とIBMコンサルティング[®]が2023年11月に共同で実施した調査では、クラウド・トランスフォーメーションのイニシアチブの成果から確かなROIを得ることができているのは、残念ながら、調査対象となった企業のわずか25%にとどまっていることが明らかになっています。²

ROIに進展が見られない原因はいくつかありますが、その主な要因としては、導入の遅れ、実現化されていないユースケース、未対応のクラウド・スプロール現象などが挙げられます。³さらに、こうした進展の欠如は、プラットフォームの拡大縮小やスキルを持つ人材の欠如、サイバーセキュリティ、データ量の爆発的な増加などの課題によってさらに悪化しています。多くの専門家は、企業がハイブリッドクラウド資産を進化させるにつれて、IT環境が非常に複雑になり、資産管理が人間の制御能力を超えていくと考えています。そのため、この課題を克服するための戦略が必要です。



■
クラウド・トランスフォーメーションへの投資から最大の利益を生み出すためには、クラウドは単なるテクノロジー戦略ではなく、ビジネス戦略である必要があります。

意図的なクラウド導入がデジタル・トランスフォーメーションの成功につながる

デジタル・トランスフォーメーションは依然として、デジタル・ファースト戦略によりビジネスの最優先事項を達成したいと考える、調査対象となったCEOの95%の優先課題です。⁴ 現在、経営幹部が最重要視しているビジネス上の課題には、従業員の生産性、新たな収益源、サイバーセキュリティー、持続可能性などがあります。¹ デジタル・トランスフォーメーションは、こうしたビジネス上の課題に取り組むために欠かせない推進力とみなされており、ハイブリッドクラウドと生成AIはビジネスの成功へとつなげる手段とみなされています。

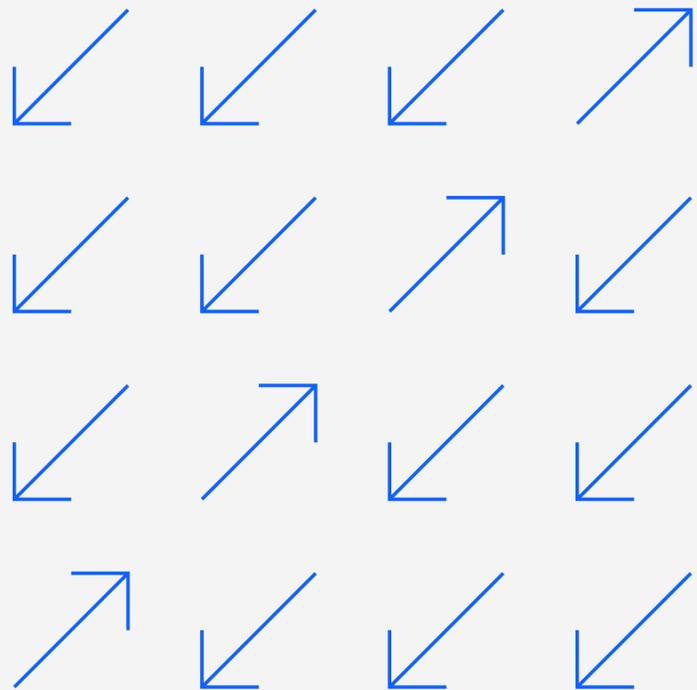
独立系調査会社が調査したビジネスおよびテクノロジーの意思決定者3,000人のうち、「71%が、有効なハイブリッドクラウド戦略を策定していなければ、デジタル・

トランスフォーメーションの可能性を最大限に引き出すのは難しい」と考えています。⁵ IBM Institute for Business Valueは、「(調査対象となった)ハイブリッドクラウド・ユーザーの68%が、生成AIの使用について、組織全体に適用される正式なポリシーまたはアプローチがある」と報告しています。⁶ これまでの落とし穴を回避するには、より意図的なハイブリッドクラウド設計と生成AIの導入が必要です。

デジタル・トランスフォーメーションを成功させるには、この取り組みを技術的なものとして捉えるのではなく、ビジネス上の取り組みとして捉える必要があります。² そうして初めて、具体的な成果を達成することができます。世界中の実に多岐にわたる業界のお客様と連携してきたIBMは、この変化を受け入れる組織を「ビジネス・クラウド・マスター」と認定しています。

これらの組織は、ビジネスの優先順位と成果を達成するために、ハイブリッドクラウド・アーキテクチャーに、テクノロジー、プラットフォーム、プロセス、人材のすべてを包括する意図的なバイ・デザイン・アプローチを採用することで、クラウドへの投資から最大の価値を引き出しています。この意図的なアプローチが最終的に、より良いビジネス成果、より高いROIをもたらします。

AIのためのハイブリッド・バイ・デザイン・アプローチの必要性



ハイブリッド・バイ・デフォルト

多くの組織は、「即効性」を追求する中でクラウドを計画性なく導入し、ビジネス全体に一貫性のないテクノロジーを適用しています。部署ごとにばらつきのあるテクノロジーを導入することで、異種混合のサイロ化された環境が生じ、これにより、複雑さとコストが増大するだけでなく、より重要なワークロードを変換して継続的なビジネス要求を満たすことができなくなっています。このハイブリッド・バイ・デフォルト・アプローチでは、IT部門主導の戦略によりビジネスに制限がかかり、生成AIを含む現在および将来のビジネス需要に対応するために必要な柔軟性と拡張性を確保できないため、結果としてROIが低くなります。

ハイブリッド・アーキテクチャーに意図が欠如していると、ビジネス全体およびビジネスに最適なテクノロジーに関する意思決定を調整することが困難になり、テクノロジーがサイロ化され、イノベーションの導入に時間がかかったり、リソースの使用の最適化が達成されなかったり、さらには生成AIに制限がかかったりする可能性があります。

生成AIがどのようにクラウドの価値を増幅し、デジタル・トランスフォーメーションを加速するかを理解することに加えて、ビジネス上の課題と成果に合わせてトランスフォーメーション・プログラムを再調整する必要があります。ハイブリッド・バイ・デザインは、この目標を達成するためのものです。

「ハイブリッドクラウドを採用するかどうかを決めるのは簡単です。そこから価値を実現するには、よりビジネスに焦点を当てた、意図的なデザインが必要になります」

John Granger

上級バイス・プレジデント

IBMコンサルティング

■
ハイブリッド・バイ・デフォルト・アプローチは、ビジネス内のクラウド・テクノロジーに計画性がなく、一貫性のない戦略で導入されていることから生じており、これが高いROIやイノベーションを妨げ、複雑さを生み出しています。

ハイブリッド・バイ・デザイン

ハイブリッド・バイ・デザインとは、重要なビジネス優先事項を達成し、ROIを最大化するために、ハイブリッドなマルチクラウドIT資産を構築する、意図的なアプローチです。組織は、従来のようなビジネスを制限するテクノロジーから、新規ビジネスや顧客の要求、変化し続けるテクノロジー環境、新しいプロセスやスキル要件に対応できるアーキテクチャーを意図的に構築することに方向転換することができます。組織の主要なビジネス目標に基づいて、意図的かつ一貫したアーキテクチャーが決定され、ハイブリッドクラウドと生成AIの利点を最大限に活用して、ビジネスの成果を推進するためのより適切な設備を備えたデジタル・エンタープライズを構築できます。

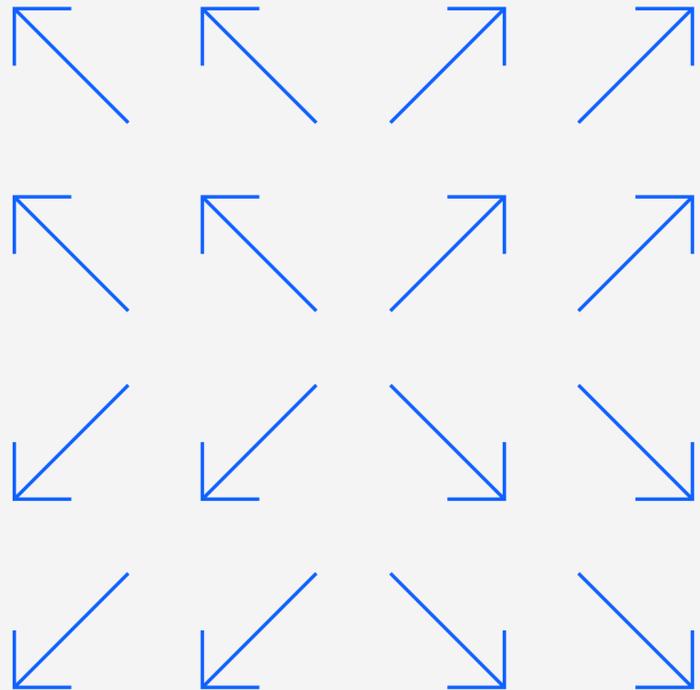
ハイブリッド・バイ・デザインの成功を支える最優先事項は次のとおりです。

- ビジネスとITの連携強化。
- ビジネス上の優先事項を実現する、ビジネス中心の製品思考の推進。
- ビジネス能力を加速および拡張するための意図的なアーキテクチャーの構築。
- プラットフォーム全体で一貫した開発および運用エクスペリエンスの構築。
- 製品チームがハイブリッドクラウド機能を最大限に活用できるようにするためのエンパワメント。
- すべてのデータの力のフル活用と生成AIのデプロイメントの拡張。

結果として得られる統合型自動化モデルが実装されると、ビジネスとITが連携し、投資価値実現の加速、継続的かつ迅速なイノベーション、生産性の向上、大規模な生成AIのデプロイメントが実現します。

ハイブリッド・バイ・デザインは、IT資産を意図的に設計することでデジタル・トランスフォーメーションを加速し、ビジネスの成果実現を推進します。

ハイブリッド・バイ・デザインでビジネス価値の増幅

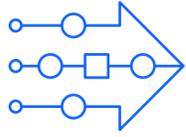


ハイブリッド・バイ・デザインは単なるクラウド・フレームワークの問題をはるかに超えた概念です。これは、テクノロジーへの投資を通じて企業がより良く、より速く、より効率的に運営するための手法です。ハイブリッド・バイ・デザイン・アプローチは大きな障壁を打ち破るだけではなく、複雑で、接続されていないことが多いIT資産から生じる課題を解決します。ハイブリッド・バイ・デザインは、プラットフォームやプロセス、人材のすべてに一貫性を徹底し、意図的にデザインすることで価値を引き出し、ROIを3.3倍以上にします。⁷

ハイブリッド・バイ・デザイン・アプローチを採用したIBMのお客様は、ITコストを削減するだけではなく、広範なビジネス価値を実現しま

す。しかも、これらすべては生成AIと併用することでさらに増幅されます。企業は、共有される人材プールを活用し、どこでもワークロードを運用可能にし、ミッションクリティカルなユースケースを自動化し、異種混在のエンタープライズ環境全体で生成AIなどの新テクノロジーのデプロイメントを拡張することで、市場と顧客のニーズに迅速に対応することが可能になります。

バイ・デザイン・アプローチが提供する価値を明確にし、これを評価するための5つの主要な基準があります。



ビジネスの加速化

ハイブリッド・アーキテクチャーにより、企業は社内のあらゆる場所でワークロードを運用できるようになり、新しいビジネス・モデルを迅速に展開し、新製品を市場に投入し、新しい市場に参入できるようになります。ハイブリッド・アーキテクチャーの目的は、より有用なインサイトやと市場への迅速な対応により、顧客体験を向上させ、顧客数を増やし、顧客維持率を高めることです。ハイブリッド・バイ・デザインにより、売上高が伸びるだけでなく、バックオフィス機能を自動化し、フロントオフィスでの手作業を削減することで、IT以外にかかる業務コストを削減し、人材やスキル不足という課題まで克服することができます。このように、ハイブリッド・バイ・デザインを採用することで、ビジネスとITがより良く連携でき、ビジネス・サイクルが短縮され、さらに生産性が向上します。



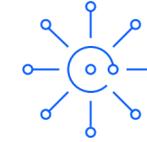
戦略的選択

ハイブリッド・バイ・デザインでは、アーキテクチャーを柔軟に活用することができ、新しい作業方法が可能になるため、アジリティーが向上します。これにより、ワークロードと関連データをクラウド間で移動することが容易になるため、コストとサービスを最適化して、高いレジリエンスにより将来のダウンタイムを最小限に抑え、新しい人材を引き付ける人材パイプラインを管理できるようになります。



コンプライアンスとセキュリティ

ハイブリッド・バイ・デザインを採用すると、ITセキュリティ・ツールとプロセスを簡素化および標準化することができ、より高水準のクラウド・セキュリティ対策とコスト削減を実現する一貫したツールがもたらされます。また、サイバー攻撃の検知と対処にかかる時間が短縮でき、ワークロードがどこで実行されるかに関係なく、安全性が確保されます。データとプロセスの一貫性が高まると、組織はコンプライアンスと監査に対する態勢を整え、ビジネス規制により適切に対応することが可能になります。



アプリケーション開発の生産性

ハイブリッド・バイ・デザインは、プラットフォーム全体で単一のビューで一元管理できるようにし、ツールを標準化することで、スキルセットとプロセスを調整してIT環境全体の作業効率を高め、さらに、AIを使用して自動最適化を行うことで、品質を高水準で維持しながら、より迅速に成果を達成します。また、共通の開発エクスペリエンスをもたらすことで生産性を向上させる一方で、自動化により人為的エラーを削減します。製品思考に基づいてビジネスを進めることで、組織は従業員が開発ライフサイクル内のビジネス目標を最大化するハイブリッド機能を活用できるようにします。さらに、一連のツールの簡素化とプラットフォームの自動化により、ハイブリッド環境の管理の複雑さとコストを軽減します。

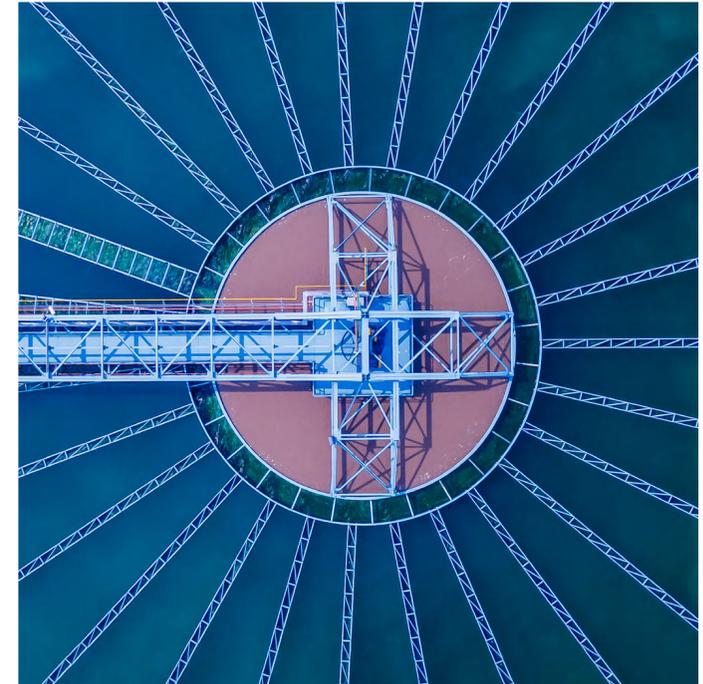


インフラストラクチャーのコスト効率

コンピューティング。ストレージ。ネットワーキング。ホスティング。ハイブリッド・バイ・デザインでは、ハイブリッドのマルチクラウド資産全体に一元管理プラットフォームを提供し、すべての環境でオートメーションと最適化を行うことで、これらのコストをすべて削減します。また、資産管理が簡素化され、ワンクリックのプロビジョニングと従量制課金制度を可能にしながら、柔軟性と可視性を備えた環境とアーキテクチャーに最適化します。

ハイブリッド・バイ・デザイン・アプローチは、サイロ化された機能ではなく企業全体のプラットフォームとして機能を開発することで、企業の共通課題を克服します。このプラットフォーム・アプローチにより、IT組織は拡大縮小、俊敏性、イノベーションを備えたビジネスを適切にサポートして、より高いROIを達成できます。最も重要な機能には、生成AIによる価値の実現、最も価値のある資産であるデータの活用、コストの最適化と管理を行いながらイノベーション・プラットフォーム上でアプリケーションを構築することが含まれます。

各機能はそれぞれが価値をもたらしますが、適切に拡張して全体的な価値を最大化するには他の機能に依存します。例えば、組織が生成AIの導入を検討している場合、次のような質問を自問する必要があります。データはどのように管理されているか。アプリケーション・プラットフォームは統合されているか。コストを効果的に管理するために適切な財務管理機能が組み込まれているか。これらの機能を適切にサポートし、相互依存関係のバランスを取る方法を理解することは困難な場合があるため、最大の価値を最大限に引き出すことができるアーキテクチャーの決定を評価できるフレームワークが必要です。

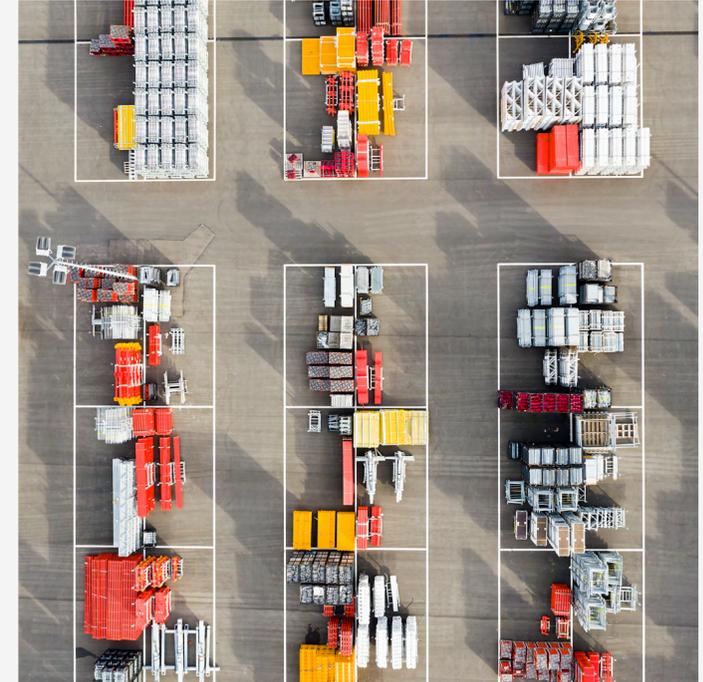


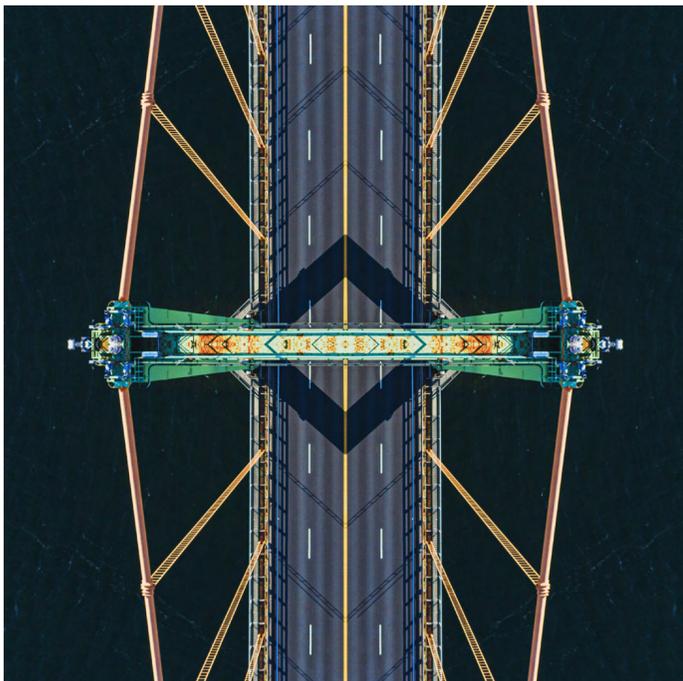
ハイブリッド・バイ・デザイン
を採用する組織は、ROIの実
現を妨げる問題を解消し、
デジタル・トランスフォーメー
ションの価値を最大化する成
果を実現することができます。

ハイブリッド・バイ・デザインのバリュー・フレームワークの体系化



IBMは、組織が必要なビジネスを加速し、成果を推進するために必要な一連のデザイン・ポイントを確認するのに役立つコード化されたフレームワークを構築しています。ビジネス目標を次の3つの分野にまたがる意思決定ポイントにマッピングすることで、フレームワークを適用できるようにしています：プロダクト・ネイティブ・バイ・デザイン、テクノロジー・バイ・デザイン、インテグレーション・バイ・デザイン。さらに、これらの領域はデザイン・ポイントにも拡張されます。ここで覚えておきたい重要なことは、どのような状況にあっても、企業はビジネス目標の実現に向かって取り組み、これを達成していくために、さまざまなレベルの能力が必要だということです。これにより、主要ビジネスを継続することができます。この価値フレームワークは、それらの意思決定ポイントを理解するのに役立ちます。





コア・ドメインと主なデザイン・ポイント

ハイブリッド・バイ・デザインの中核にあるのは、意図的に製品主導とすることであり、これにより、さまざまな機能を統合しながらテクノロジーを決めていくということです。

ハイブリッド・バイ・デザインの価値フレームワークを支える3つの主要な領域：

- **プロダクト・ネイティブ・バイ・デザイン**は、ユーザー中心のアプローチを核として、組織全体の価値創造の優先順位、速度、規模を強化します。
- **インテグレーション・バイ・デザイン**は、アーキテクチャー全体でシステムを調和させることで、シームレスなデータ・フローとコラボレーションを確保します。

- **テクノロジー・バイ・デザイン**は、複数のハイブリッドクラウド環境の統合により、俊敏性が向上し、イノベーションが強化されます。

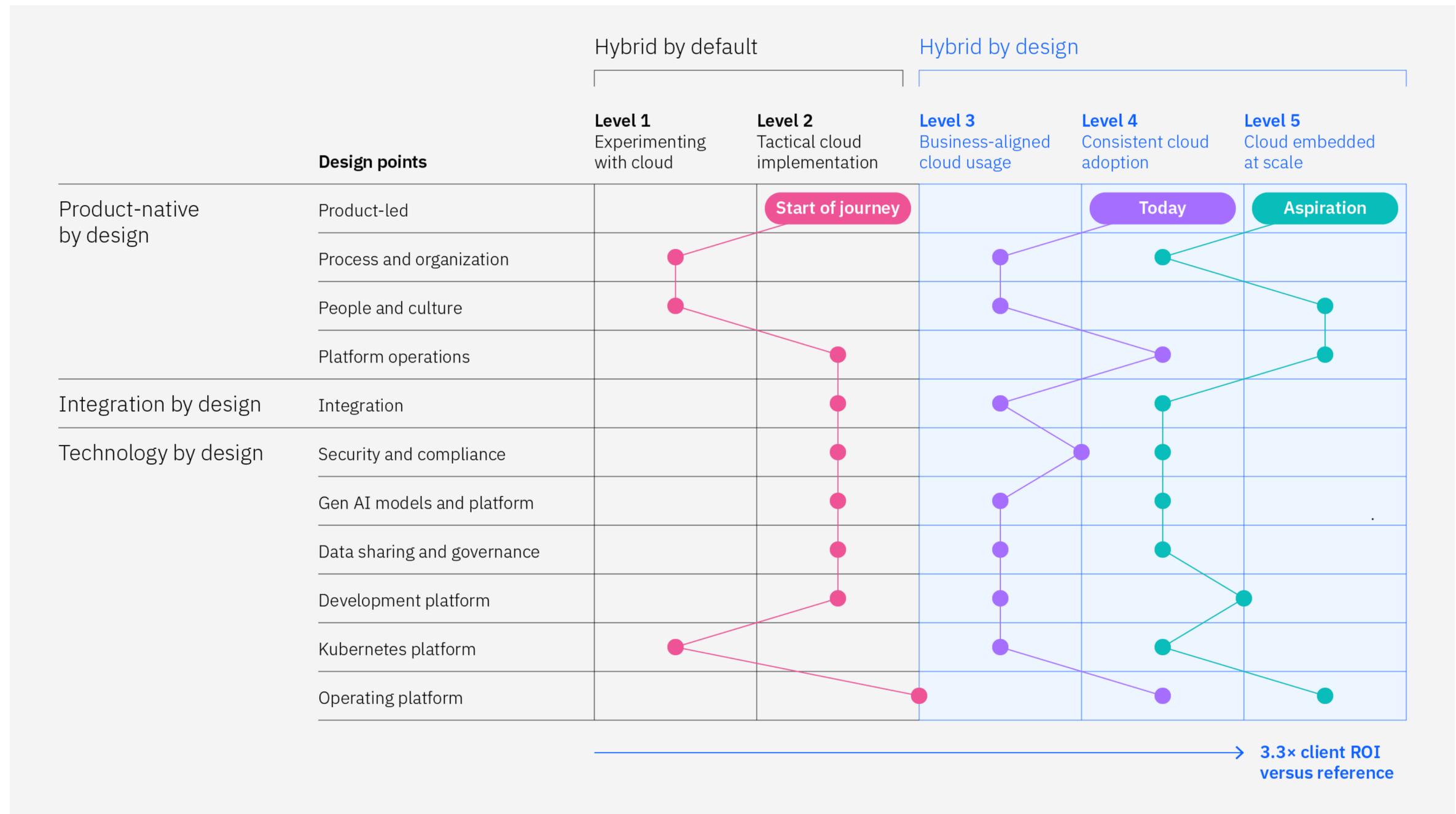
これらの領域はさらに11の個別のデザイン・ポイントに分割され、貴社に重要な領域を正確に特定するのに役立ちます。

価値フレームワークは、お客様が機能強化に必要な投資分野を特定するのを支援し、明確化された優先事項を達成するために、組織のすべての分野にわたる包括的かつ統合されたアプローチを確保するのに役立ちます。このフレームワークは、ビジネスの優先順位に基づき主要なアーキテクチャーを決定し、トランスフォーメーションに付随するリスクを最小限

に抑え、ビジネス・プロセスを再考し、そして最も重要なことにROIを最大化するのに役立ちます。デザイン・ポイント全体で必要な最小レベルは、組織のビジネス目標により異なります。例えば、顧客体験が最優先事項である組織と、新たな市場への参入を目指している組織が優先すべきアーキテクチャーの決定は異なるでしょう。

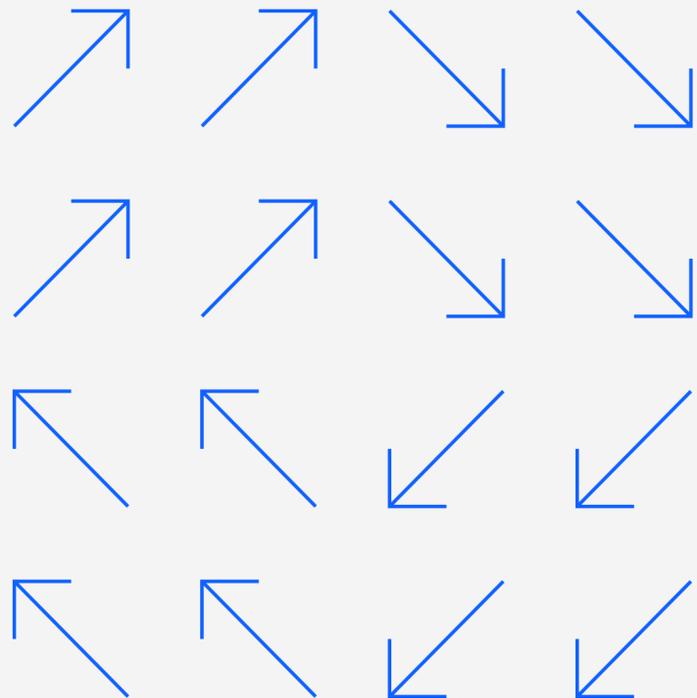
15 ページのグラフは、あるお客様のバイ・デザイン・トランスフォーメーションにおける進行状況を示したもので、組織がどこから旅を始めたのか、現在どこにいるのか、そしてどこを目指しているのかがわかります。

デザイン・ポイント全体にわたる現在の領域と目指す領域が明示的に表示され、ROIを最大化するために最も必要な投資が特定されます。すべてのデザイン・ポイントでレベル5に到達する必要はありません。各組織は、最終的なビジネス目標達成に近づくために、資金調達の現実と進行中の業務の複雑さのバランスを取るために必要な最低レベルを決定する必要があります。これにより、プログラムがさまざまなワークストリームの取り組みを見積もり、適切に調整して、関連するすべてのワークストリームと利害関係者がより適切に調整された包括的なトランスフォーメーション・アプローチを確立するのに役立ちます。これにより、トランスフォーメーションに成功し、ビジネス目標が達成されます。



ビジネス上の課題を克服するために必要な3つの領域と11のデザイン・ポイントにわたって求められる一貫性を評価する、コード化されたハイブリッド・バイ・デザインの例⁸

生成AIを使用した、生成AIのためのハイブリッドの導入



AI、より正確に言えば生成AIの出現は、ビジネスの運営方法と、ITがビジネス成果の達成をサポートする方法に、以下のような革命をもたらしました。

- パーソナライズされたマーケティングと、顧客維持と新規顧客数増加を実現するための迅速な顧客調査を通じて、破壊的な顧客体験を改善しました
- ビジネス・プロセスの強化や従業員の生産性の向上、エッジ・ケースの急増を通じて、新しいビジネスの方法を開拓し、インサイトを入手できるようにしました
- 最適化されたインフラストラクチャー管理、アプリケーション・モダナイゼーションの加速、ITヘルプデスク・サポートの自動化により、プロセスやテクノロジーの自動化が改善されました

さらに、生成AIはデジタル企業の構築における重要なパズルのピースとなり、IT投資からの収益率を最大化するのに役立ちます。一方、企業は、次世代AIソリューションの試験運用から、世界中のミッションクリティカルなワークロード向けの本番環境への導入に舵を切るにつれて、次のような課題に直面しています。

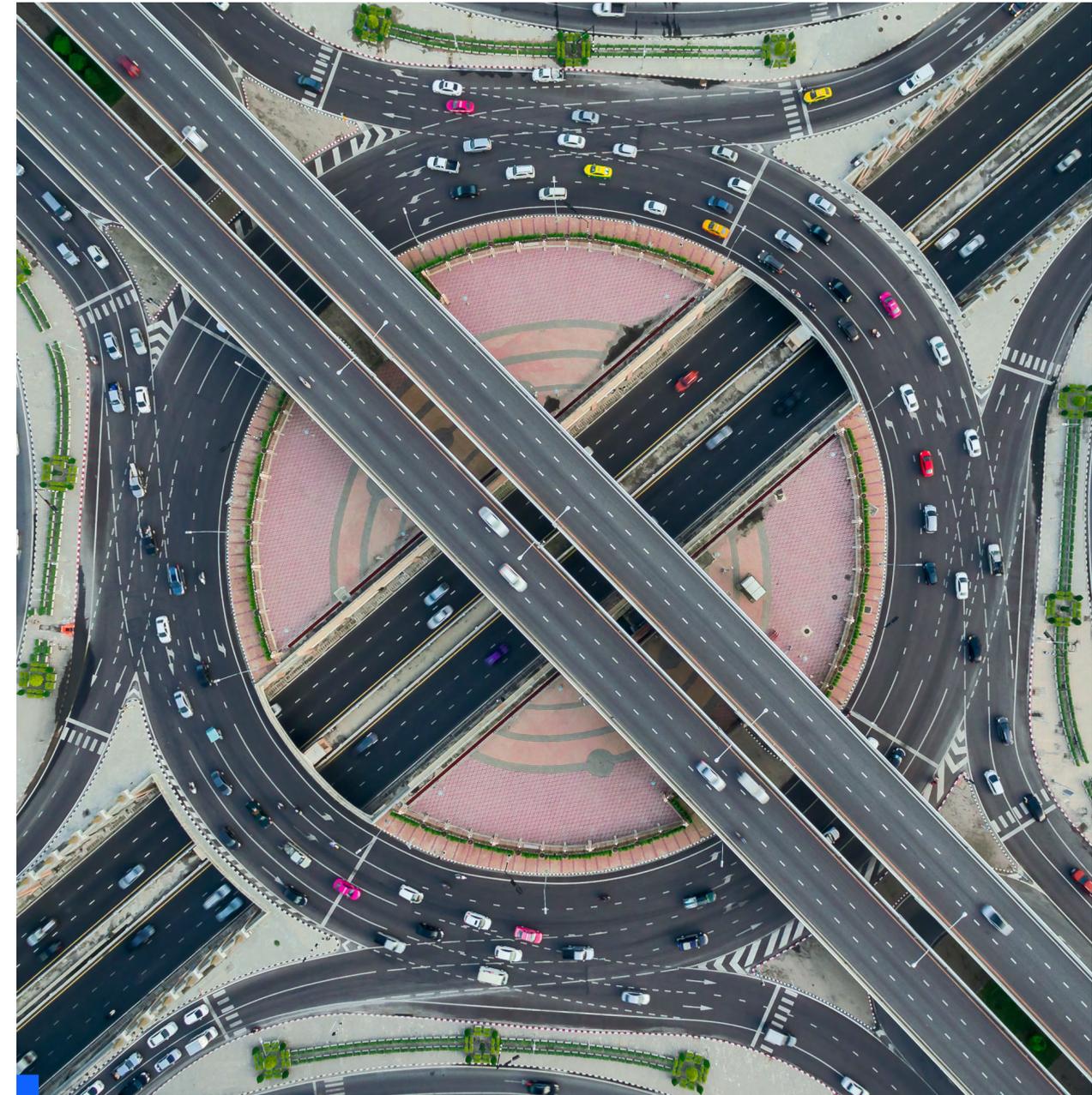
- 異なるITスタックで実行されるマルチモデルのワークフロー⁹
- ハイブリッド、マルチクラウド環境で使用される高価なリソース¹⁰
- 企業全体のワークフローにより複雑化するモデルとデータ・ガバナンス¹⁰
- 異種環境によって制限される拡張性と複製可能性¹¹
- 分散データにより制限されるデータ品質とアクセス¹²

意図的で一貫したハイブリッド・アーキテクチャ設計は、これらの課題を克服し、ビジネス・ニーズを満たすIT機能を適切に導入および拡張するのに役立ちます。例えば、AIおよび生成AIの開発者には、脆弱性に対する信頼性を備えた幾重にも講じられたセキュリティー対策や各種規制に準拠したAIに加えて、さまざまな環境で複製されたモデルを備えた効果的な開発プラットフォームが必要です。ハイブリッドクラウドは、特定の環境からのモデルの独立性と、対応を調節して強化されたクロススタック・セキュリティーを実現できます。

ハイブリッドクラウド + 生成AI = トランスフォーメーションの加速

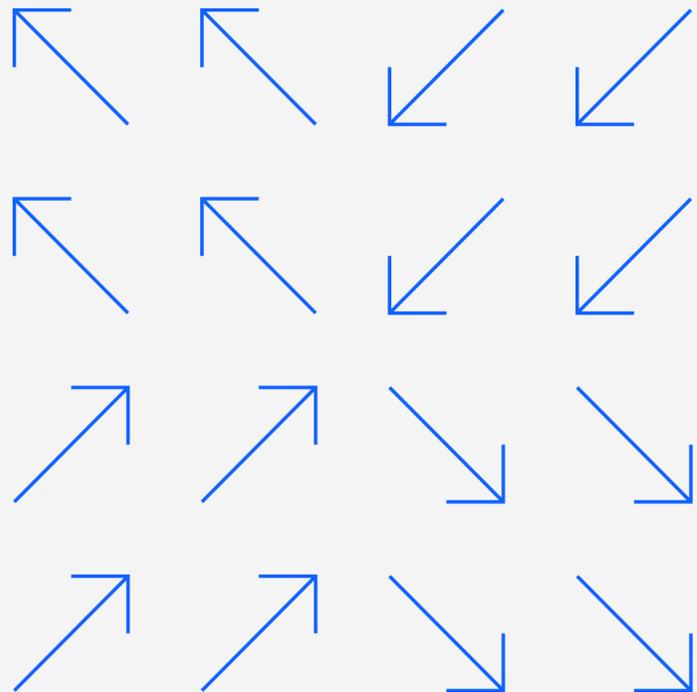
ハイブリッド・バイ・デザイン・アプローチは、生成AIがビジネスのニーズを満たすのに役立つのと同様に、生成AIはハイブリッドクラウドの実行を加速します。生成AIは、可観測性によるオートメーションの向上、インサイト取得の自動化によるコストの最適化、ハイブリッド・プラットフォーム全体のセキュリティーとコンプライアンスの強化を実現します。

ハイブリッドクラウド・モデルを最大限に活用するには、生成AIを含むAIテクノロジーの適用が必要になります。同時に、意図的なハイブリッドクラウド設計により、AIソリューションを導入する価値を高める機能と利点がもたらされます。端的に言えば、今日のビジネスは、次世代AIを備えたハイブリッドクラウドという新タイプのイノベーションにより強化されるということです。



生成AIはハイブリッドの価値を増幅させる一方で、生成AIの適用範囲を最適に拡大縮小して活用するにはハイブリッドが必要です。

実世界でのハイブリッド・バイ・デザインの成功



米国に本拠地を構える世界的な大手航空会社と英国を代表するスポーツ大会の共通点は何でしょうか。その答えに驚くかもしれません。ヒント：バイ・デザイン。

ウィンブルドン選手権がAIを活用してファンのエンゲージメントを強化

ウィンブルドンのテニス選手権を主催するAll England Lawn Tennis & Croquet Club社は、オーディエンスが利用できるデジタル機能を充実させ、イベント前後やイベント中におけるファン・エンゲージメントを高めたいと考えていました。IBMは、プライベートクラウド環境とパブリッククラウド環境にわたってスケーラブルなAIプラットフォームを構築し、ハイブリッドクラウド・プラットフォームをウィンブルドンのポータルおよびアプリと連携させることで、複数のソースからデータを取得できるようにしました。その結果、ファンのアフィニティとトラフィック率は実に55,000%も上昇し、訪問数は4,900万回、オンデマンド・ビデオの再生回数は1,100万回を達成する一方で、4,000万件の脅威はブロックされました。

[ブログ記事を読む →](#)

世界的な大手航空会社における 顧客体験の向上

米国に本拠地を構えるデルタ航空は、新しい顧客体験を軌道に乗せるための支援を必要としていました。この航空会社は、IBMと連携し、自社のIT資産全体に一貫した開発、セキュリティ、オペレーションをもたらすオープンなハイブリッド・アーキテクチャーをデプロイしました。その結果同社は、ハイブリッドクラウドを使用して、600機以上の飛行機に無料の機内Wi-Fiを装備し、オンラインのマーケットプレイスへのアクセスを提供することができました。

[プレス・リリースを読む →](#)

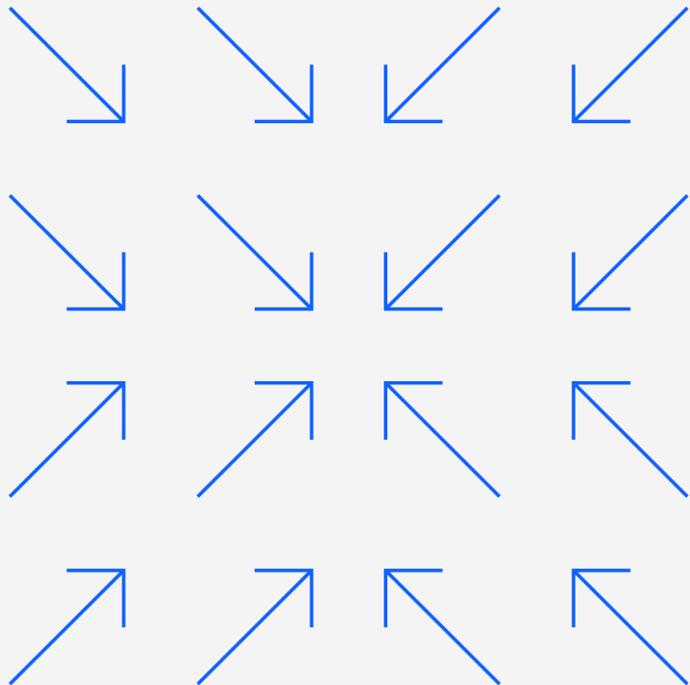


ハイブリッド・バイ・デザインのバリュー・フレームワークの活用

トランスフォーメーションを成功させるために明確に定義した戦略が不可欠かつハイブリッド・バイ・デザインの基礎となります。組織のトランスフォーメーションの取り組みで指針となる明確なビジネス目標を立てると、価値フレームワークが優先順位を主要なアーキテクチャー上の決定に変換するのに役立ちます。一度これらの目標とデザインが決定されると、「組織が成功するために、多くのテクノロジーとパートナーとどのように連携し、実行していくのか」という質問に答える必要があります。

すべての利害関係者による話し合い

ハイブリッド・バイ・デザインは、お客様の価値を中心に据えるエコシステムの取り組みです。ハイブリッド・バイ・デザインと生成AIの取り組みに参与するエコシステムのさまざまな利害関係者により、複雑なダイナミクスが生み出される可能性があります。このような複雑なプロジェクトでは、実装パートナー、ハイパースケラー、SaaSプロバイダー、ISVは、独自のバイアス、異なる視点、既得権益があるかもしれません。こうなると、組織内のビジネス成果を達成するために協力するという目的を見失いがちになります。同様に、組織内のさまざまな基幹業務のリーダーやITリーダーが、相互のビジネス目標について同じ視点を共有していないケースも考えられます。こうした利益のばらつきにおける管理は、既存のビジネスおよびITガバナンス構造により部分的に解消できるかもしれませんが、実際には、より直接的なソリューション、つまりゲームチェンジャーが必要になります。



■
ビジネス・リーダーには、ハイブリッドクラウドの価値を最大限に引き出し、生成AIの力を活用するための明確な戦略と堅牢なエコシステムが必要です。

価値フレームワークから生まれるエコシステムの利害関係者間でビジョンを共有することにより、関係者間の調整が容易になり、各関係者が話し合いの席に参加する代表者を指名できるようになります。この取り組みを監督する企業幹部が議長を務め、話し合いの席に参加する社内外のパートナーは、すべての関係者の信頼を維持するために、協力的かつ一貫性を持ち、十分な透明性を持って意思決定を行うことで、プログラムを継続的に順調に進められます。

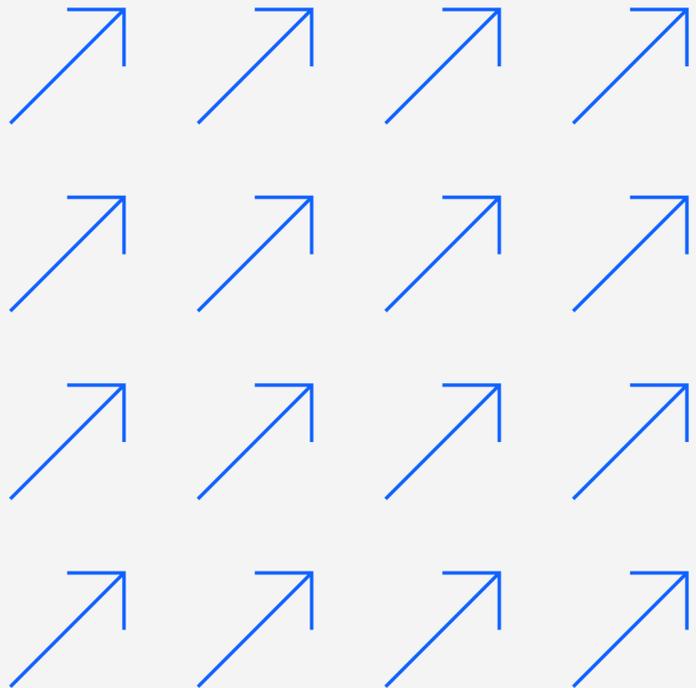
統一フレームワーク下で連携

この話し合いの目的の1つは、指定された各代表者にとってゼロサムゲームになる可能性のあるものを、話し合いの参加者全員およびエコシステム全体にとってより大きな価値をも

たらず決断に変えることです。ハイブリッド・バイ・デザインでは、事業部門、IT、主要インテグレーター、テクノロジー・ベンダーなどの関係者の利害が競合しますが、オープンなイノベーションと共創によりプログラムを成功に導くことができます。価値フレームワークは、ビジネス成果とテクノロジーにおける意思決定をすり合わせ、組織の成功に重点を置いた統一戦略に基づいてすべてのパートナーを連携させるのに役立ちます。

これらはすべて、共有のビジョンから始まり、適切なパートナーとテクノロジーを活用することで加速され、ハイブリッド・バイ・デザインの価値フレームワークに導かれ、明確化された目標を達成するために利害関係者が一丸となるように後押しします。

ハイブリッドクラウド と生成AIの取り組 みの加速化



ビジネス・ニーズに基づいて意図的に決定したアーキテクチャーを適用することで、ハイブリッドクラウドとAIの価値を増幅してビジネスの成果達成を推進することができます。このような重要な選択を偶然に任せないでください。ビジネス・クラウド・マスターとなって、意図的にデザインしたソリューションを構築しましょう。

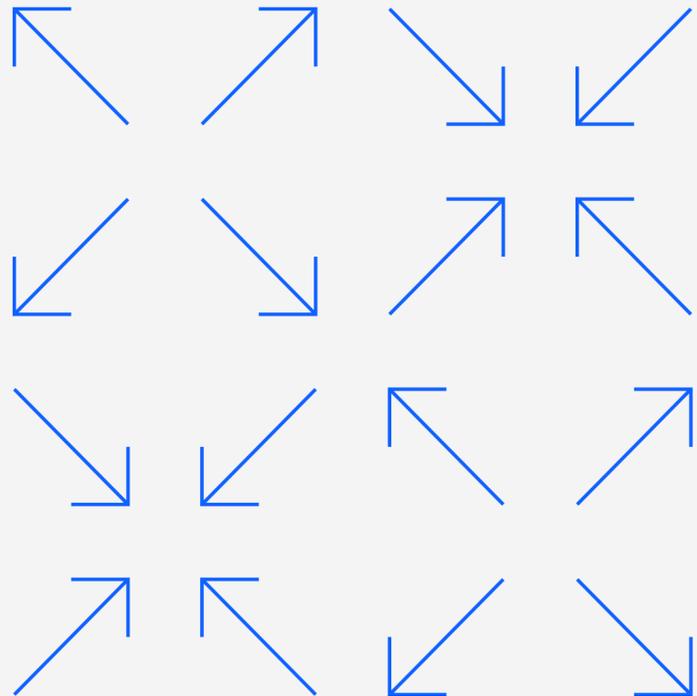
IBMでは、お客様が生成AIとクラウド・サービスを活用してビジネス上のイノベーションを推進するハイブリッドクラウド・プラットフォームの設計方法を学習できるよう取り組んでいます。そのため専任のハイブリッドクラウド&AIチームが、クラウドおよびAIソリューションを試験運用できる有望な機会を特定することを目的とした、パーソナライズされた検出セッションを提供しています。

[ディスカバリー・セッションを予約する →](#)

[AIのためのハイブリッドクラウドの詳細はこちら →](#)



作成者について

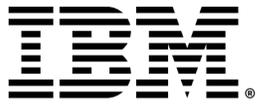


Varun Bijlani、ハイブリッドクラウド・サービスのためのグローバル・マネージング・パートナーIBMコンサルティング

Varunは、IBMのグローバルなハイブリッドクラウド・サービス部門を主導し、ビジネス目標の達成に役立つテクノロジーとクラウド戦略をお客様自身が定義および実行できるよう支援しています。Varunのチームは、クラウド戦略とアーキテクチャー、アプリケーション・トランスフォーメーションと製品エンジニアリング、クラウド・プラットフォーム・サービス、ITとアプリケーションの運用を専門としています。Varun自身は、開発、エコシステム・パートナーシップ、市場開拓イニシアチブ、販売と実行における卓越性、スキル戦略、人材管理におけるサービス提供も担っています。IBMのグローバル・シニアリーダーシップ・チームの一員でもあるVarunは、主要なお客様数社に対するパートナーシップ・エグゼクティブの役割も果たしており、お客様のデジタル・トランスフォーメーションを支援し、関連する差別化されたサービスとソリューションをお客様がIBMから確実に受けられるようにしています。

Edward Walsh、シニア・マネージング戦略コンサルティングIBM Consulting

EdwardはIBMのグローバル・クラウド・アドバイザリー業務の上級管理コンサルタントです。デジタルおよびクラウド面での大規模なモダナイゼーションを求めめるお客様に戦略的なガイダンスを提供しています。クラウド・トランスフォーメーション・ロードマップ作成に豊かな実績を持つテクノロジー・ストラテジストであるEdwardは、ビジネス目標とIT戦略を調和させてビジネス成果の達成を推進することに手腕を発揮してきました。戦略計画と価値の実現に不可欠なITテクノロジー導入ソリューションのビジネスケース構築に深い専門知識を有しています。また、IBM社内では、開発および市場投入プログラムの提供でチームを率いています。Edwardは、最先端のテクノロジーソリューションを通じて複雑なビジネス課題を解決することに真摯に取り組んでおり、複数のチームを率いて企業をデジタル時代の最前線へと導いています。



1. [クラウドの価値を探求：生成AIはクラウドのROIを変革するか。](#)、McKinsey Digital社、2023年11月15日。
2. [クラウド・トランスフォーメーションがもたらす具体的なビジネス価値は依然としてとらえどころがない：ビジネス向けクラウドを使いこなすための5つの秘訣](#)、HFS Research社とIBMの共同調査、2023年11月。
3. [クラウド戦略で抜きん出る](#)、McKinsey Digital社、2023年11月30日。
4. [CEOの95%がデジタル・ファースト戦略を採用している理由、クラウド・パートナーを最優先している理由](#)、IDC社、2022年7月28日。
5. [グローバル・ビジネスのリーダーは、ハイブリッドクラウドはモダナイゼーションに不可欠である一方で、セキュリティ、スキル、コンプライアンスへの懸念が成功を妨げていると語る](#)、IBM Newsroom、2022年9月28日。
6. [データ・ストーリー：ハイブリッドクラウドとAIのパワー](#)、IBM Institute for Business Value、2023年11月6日。
7. IBMコンサルティングが50社以上のお客様にアドバイスを提供してきた経験から生まれたハイブリッド・バイ・デザイン・アプローチのための5年間ROIモデルに基づく予測。ROI方法論：売上高の成長、生産性の向上、コストの削減。IBMコンサルティング：経済的価値モデル。
8. 出典：IBMのお客様へのエンゲージメント、IBMコンサルティング
9. 出典：150社以上の企業を対象にIBMが実施した一次調査結果
10. [CEOのための生成AIガイド](#)、IBM Institute for Business Value、2023年。
11. [初期の生成AIの試みが本番環境に到達できなかった理由](#)、Forbes誌、2024年1月8日。
12. [分散クラウドシリーズ：分散クラウド全体にわたるインフラストラクチャー・モダナイゼーションの現状](#)、TechTarget社のEnterprise Strategy Group、2023年11月30日。

© Copyright IBM Corporation 2024

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒105-5531
東京都港区虎ノ門二丁目6番1号
虎ノ門ヒルズ ステーションタワー

Produced in the United States of America
2024年2月

IBM、IBMのロゴ、IBM Consultingは、米国およびその他の国々におけるIBMの商標です。その他の製品およびサービス名は、IBMまたはその他の会社の商標である場合があります。IBM商標の最新リストは、ibm.com/jp-ja/trademarkでご確認いただけます。

本書は最初の発行日時点における最新情報を記載しており、IBMにより予告なしに変更される場合があります。IBMが事業を展開しているすべての国で、すべての製品が利用できるわけではありません。

引用または説明されているすべての事例は、一部のクライアントがIBM製品を使用し、達成した結果の例として提示されています。実際の環境でのコストや結果の特性は、

クライアントごとの構成や条件によって異なります。お客様のシステムおよびご注文のサービス内容によって各クライアントの結果は異なるため、一般的に予測される結果を提示することはできません。本資料の情報は「現状のまま」で提供されるものとし、明示または暗示を問わず、商品性、特定目的への適合性、および非侵害の保証または条件を含むいかなる保証もしないものとします。IBM製品は、IBM所定の契約書の条項に基づき保証されます。

適切なセキュリティ慣行に関する声明：どのようなITシステムや製品も完全に安全とみなすべきではなく、不適切な使用やアクセスを、完全に実効性のある形で防止できる単一の製品、サービス、セキュリティ対策もありません。いずれかの当事者による不正行為または違法行為の影響がシステム、製品またはサービスに及ばないという保証、またはこうした影響がお客様企業に及ばないようにするという保証をIBMが提供することはありません。

お客様は、自己の責任で関連法規および規則を順守しなければならないものとします。IBMは法律上の助言を提供することではなく、また、IBMのサービスまたは製品が、いかなる法規もしくは規則をお客様が順守していることの裏付けを、表明ならびに保証するものでもありません。